

8 CORE & CDL TIMES

発行日：2020年2月1日（季報）

2019
10.25～

ゼロイチ・アクセラレーション・プログラム

～次世代を生き抜く思考・行動様式と挑戦するマインドを養う、イノベーション人材育成プログラム～

鳥取大学、鳥取銀行、鳥取大学振興協力会が連携して開催する連続プログラム「ゼロイチ・アクセラレーション・プログラム」が開催されました。0を1にできる「ゼロイチ人材」に必要である、社会や経済に変革を与え、挑戦するマインドセットや思考・行動のフレームワークを、多くの参加者が4つのテーマ・講師陣から学びました。

2019 10/25	Lecture	2019 11/19	Lecture	2019 12/19	Lecture	2020 1/14	Workshop
	「イノベーション思考の フレームワーク」 講師：渋谷 健 氏 (フィールド・フロー株式会社 代表取締役)		「創造的思考力と企業家精神」 講師：忽那 憲治 氏 (神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 副研究科長・教授) 講師：佐藤 正和 氏 (株式会社Japan & India Project Design CEO、国立大学 岡山大学 経済学部 客員講師)		「地域におけるクリエイティブ力」 講師：石川 琢也 氏 (山口情報芸術センター エデュケーター)		「感情的知性を磨く・対話学」 講師：中村 一浩 氏 (株式会社Project Design Office 代表取締役)

2019
10.30～

連続企画 もやもやトーク

全4回の連続企画である、もやもやトークが開催されました。各回に地域コミュニティで活躍するゲストを迎える、新しいスタイルの互助や仲間づくりの発見や、もやもやとした感覚の新しさや楽しさについて参加者で話し合いました。

【第1回 2019年10月30日(水)】

ゲスト：吉田 裕志さん(コナン金ちゃんファミリー)

【第2回 2019年11月28日(木)】

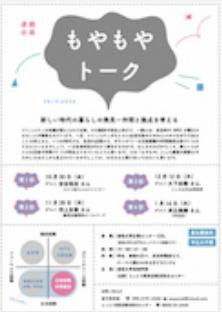
ゲスト：河上 友香さん(難民支援団体ピースバード)

【第3回 2019年12月12日(木)】

ゲスト：大下 志穂さん(こっちの大山研究所)

【第4回 2020年1月16日(木)】

ゲスト：井辻 美緒さん(YKG60)



主催：鳥取大学地域学部 / (公財) とっとり県民活動活性化センター



2019
11.16

第一回 ふるさとさんぽイベント

鳥取大学学生にぎわい創造プロジェクトが主催する、地域と大学生がつながるおさんぽイベントが開催されました。CDLでの開会式ではリーダーによる挨拶とオリエンテーションがあり、その後、大学から湖山池ナチュラルガーデンまで地域の方6名と大学生が会話しながら歩きました。会場であるCDLに戻り、歩いてみて気づいた、感じた湖山の魅力について話し合い、付箋に貼りました。その記録としてパネルを11月末までCDLに展示しました。

2019
11.29

ローカルコワーキングサミット

～鳥取、津山、作用から、地方における新たなワークスタイルを考える～

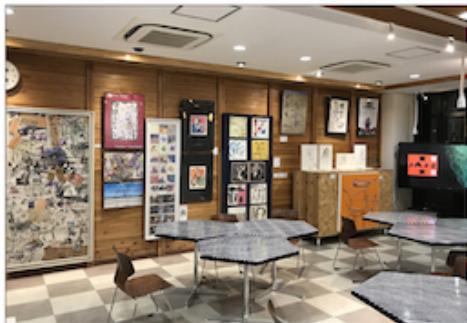


隼Lab. で開かれた、新しいワークスタイルを考えるサミットにCDLも参加してきました。地域に根差して事業展開する鳥取・岡山・兵庫のコワーキングスペースの運営者が集結し、各々の拠点のビジョンや、地域をどうしたいのかなどの想いを共有しました。コワーキングスペースに限らず「場」の運営を検討している方、新たな働き方を模索している方など様々な方に気づきやきっかけを提供できたイベントでした。【参加拠点】Next.（株式会社アクシス）、CDL（鳥取大学）、SUIKO WORK CAMP（スイコー株式会社）、INN-SECT（レプタイル株式会社）、コバコ Work&Camp（コバコ株式会社）、隼Lab.（株式会社シーセブンハヤブサ）



2019
12.3～
12.20

徳持耕一郎 イノベーターとしての足跡



鳥取の美術＆文化リサーチ講座「現代美術を学び、鳥取美術＆文化を調べる」の受講生を中心に組織された実行委員会が主催する展覧会「徳持耕一郎 イノベーターとしての足跡」が、12月3日から12月20日まで本学にて開催されました。鳥取市出身の造形作家、徳持耕一郎氏によるスペシャルトークが行われました。徳持氏は、江戸時代の浮世絵に魅せられ、本学工学部を中退後、木版画・銅版画・石版画・シルクスクリーンなど版画全般を創形美術学校版画科で学ばれました。その後、1993年に鳥取県民文化会館（現・とりぎん文化会館）開館時に発表して以来、「鉄筋彫刻」は徳持氏の代表的なシリーズとなりました。今回の展覧会は、鳥取大学附属図書館と鳥取大学CDLで行われ、CDLでは、徳持氏がディズニーの依頼を受け作成した鉄筋彫刻作品や、影響を受けたNYジャズをモチーフとしたスケッチ、CDのアートワークや鳥取大学在学中の貴重な写真などを展示しました。

2019
12.19

山陰海岸ジオパークみんなでおしゃべり2

最新研究発表と地域資源を活用した俺たちのガイドツーリズム



山陰海岸ジオパークの研究の最前線を地域の方々に知って頂くとともに、地域資源を活用した稼ぎ方や地域の盛り上げ方等について、現場で活躍している様々なゲストを交えて、みんなで気軽に語り合えるフォーラムをCDLで開催しました。山陰海岸ジオパークエリア内外で活動するガイド、観光関係者、行政職員、大学生、大学教員など、63名の方に参加いただき、活発に議論が交わされました。ファシリテーターに合同会社むすひパートナーCEOの大岩根尚氏を迎え、山陰海岸ジオパークの研究発表、アクティビティ事業でのジオパーク活用のお話のほか、株式会社グローバルスポーツクラブ代表取締役・伊豆大島ジオパーク推進委員の西谷香奈氏による「選ばれるジオガイドとお客様づくり」、旅行会社MATA TABI代表・里山ゲストハウス クチュール代表の工忠照幸氏による「地元を巻き込んだ外国人にウケるローカルツアー」など、地域を盛り上げるヒントが満載のお話に参加者は刺激を受け、その後のおしゃべりタイムでも盛んに質問の出る良いイベントになりました。

主催：鳥取県、鳥取大学 共催：山陰海岸ジオパーク推進協議会

2019
10.6~

地域と大学をつなぐ、鳥取をもっと好きになるラジオ。

鳥取大学CoREラジオ

vol.25 ゲスト:鈴木慎一朗先生

ゲストは地域学部地域学科人間形成コースの鈴木慎一朗准教授。教員養成における音楽の歴史研究（童謡唱歌）のお話や、CoREの支援を受けて研究している「貝殻節」を中心とした鳥取の民謡についてのお話など、貴重な音源も交えながらお話をいただきました。



ON AIR 10月6日(再放送 10月13日)

vol.27 ゲスト:池田玲子先生・御館久里恵先生

ゲストは国際交流センター 副センター長の池田玲子教授と、御館久里恵准教授。鳥取大学と地域の国際化推進に大きな役割をもつ国際交流センターについてのお話や、お二人の専門である日本語教育（日本に住む海外の方にどのように日本語を教えていくか）のことなどについてお話をいただきました。



ON AIR 11月3日(再放送 11月10日)

vol.29 ゲスト:村瀬謙介さん・森田将悟さん

ゲストは地域価値創造研究教育機構の村瀬謙介さんと森田将悟さん。企業や行政と連携する学生プロジェクトの紹介とその活動についてのお話や、鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ（CDL）の活用方法やこれまで実際に行ってきましたイベントについてお話をいただきました。



ON AIR 12月1日(再放送 12月8日)

誰でも気軽に聴くことができるラジオ番組を通して、もっと地域と大学をつないでいきたい！鳥取をもっと好きになってもらいたい！そんな想いで鳥取大学CoREラジオの放送を行っています。放送は毎回、鳥取大学の個性豊かな先生をお迎えしてお届けしています。

vol.26 ゲスト:近藤謙介先生

ゲストは農学部附属フィールドサイエンスセンター講師の近藤謙介先生。水菜をはじめとした葉物野菜の栽培研究のお話や、フィールドサイエンスセンターで親子向けに農業体験、食農教育の一環で行っているプログラム「アグリスクール」のお話、センターで採れた野菜の学内販売などについて語っていただきました。

ON AIR 10月20日(再放送 10月27日)

vol.28 ゲスト:中井唱先生

ゲストは工学部機械物理系学科 応用数理工学の中井唱准教授。病原菌や発酵食品など人類の生活と密に生存してきた微生物。なかでも「細菌」の集団挙動の予測や制御の研究について、また音についての研究のお話をいただきました。



ON AIR 11月17日(再放送 11月24日)

vol.30 ゲスト:藤巻晴行先生

ゲストは乾燥地研究センター 農業生産分野の藤巻晴行先生。乾燥地研究センターとはどういう施設なのかというお話から、乾燥地での灌漑（かんがい）排水学を中心とした研究のお話、またパレスチナやエチオピアでの現地プロジェクトについてお話をいただきました。



ON AIR 12月15日(再放送 12月22日・12月29日)

第1回から第30回の内容はこちらから聴くことができます。

<https://www.core.tottori-u.ac.jp/category/journal/>

2019
10.15
12.24

地域づくりのための 自主講座

この講座は主体的に学びたいと思っている方が参加し、毎回発表者が、自身や運営組織の実践報告や理論発表など自由なテーマで語り、その後参加者で議論し、研究したことを地域づくりの実践に活かすことを目的とした講座です。地域住民や教職員、学生も参加しています。偶数月第3火曜日にCDLで開催。



2019年
10月15日

地域の知恵が生み出した「新しい観光」-南信州のグリーン・ツーリズムを事例に-
発表者：地域力創造アドバイザー（総務省）／博士（政策科学） 安藤 隆一さん

地域（住民）自身が「新しい観光システム」を生み出すことが重要であるというお話や、10年間その地域に住んで「南信州のグリーン・ツーリズム」を事例に研究した内容を発表し、鳥取ではどう考えたらいいか提言していただきました。



2019年
12月24日

中山間地の内発的発展の現状と展望
発表者：地域学部地域学科 地域創造コース 多田 憲一郎 教授

地域外からの企業誘致をはじめとする従来の外来型開発ではなく、地域の何が移出力なのか、内発的発展の成功ポイントとは何なのか、といった地域課題解決の取り組みを、岡山県真庭市のバイオマстаウン構想を事例にお話いただきました。

とっとり県民カレッジ連携講座 鳥取大学サイエンス・アカデミー

会場：鳥取県立図書館2階 大研修室
鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ

時間：10:30～12:00

ライブ中継による聴講ができます！

米子市立図書館・倉吉市立図書館・琴浦町図書館・
加藤文太郎記念図書館・南部町立法勝寺図書館

「木を見て森も見る」

10/26 林業から考える生態系保全

農学部附属フィールドサイエンスセンター 教授 大住 克博



森が荒れている、林業が衰退している、森林を守らなければ…という声をよく耳にします。では守られている森林とは、どのようなものなのでしょうか？熊が歩ぐナラの「原生林」でしょうか？あるいは林業を支える間伐が行われた針葉樹人工林でしょうか？森林を守るための答えを得るために、この意外に難しい問題を、事例とともに解説していただき、参加者の皆さんと一緒に考えました。

11/9 森林に水源としての役割を期待してよいのでしょうか？～押さえておきたい森と水の基礎知識～

農学部生命環境農学科 生命環境農学講座 准教授 芳賀 弘和



鳥取県の74%を占める森林。林業をはじめ、スポーツやいこいの場、水源、治山炭酸ガス吸収などその役割は多様です。鳥取大学は蒜山の森・三朝の森・伯耆の森・湖山の森の4つの森林教育研究林を保有し、水や森林に関する特色ある教育・研究を行い、地域の森林資源の保全や活用に寄与しています。今回の講演では森と水の基礎知識から、研究からわかった森林の役割をお話していました。

11/23 Part1 木材に秘める魅力と可能性 地域価値創造研究教育機構地域連携URL 堤 晴彩

木材は1本1本性質が異なるため、扱いにくくされている反面、それは唯一無二の個性としても考えられます。当パートでは、桶等の木製品を例に、生物であるゆえの木材ならではの魅力をお伝えしました。



Part2 大学生からみた林業の今～智頭林業合宿を終えて～

農学部生命環境農学科3年 牧 尚澄

森と友達サークル（通称・森友）では活動の一環として、森林関係イベントの企画運営を行っています。今回は、智頭町にて若手を対象とした合宿型の林業体験イベントを企画しました。当パートでは本イベントの報告とともに、イベントを通して感じたことをお話しいただきました。



12/14 スギと日本人

智頭の山人塾 塾長 山本 福壽

スギは一般には建築用材として知られています。しかし、縄文時代以来、スギが果たしてきた役割は極めて大きく、住居はもとより、食生活や公衆衛生にまで関わるようになってきました。日本の文化発達にスギの果たしてきた役割はどこまで認識されているのかを、智頭の山人塾 塾長の山本福壽氏にお話していただきました。



シリーズ
身近な心理学に触れる

「心理学」を一言で言うと、人の心を解明する科学です。私たちの行動や認知、知覚、性格、神経や脳などの生理的な活動や子どもの精神の発達、さらには職場の人間関係や恋愛、スポーツなどに及ぶまで、心理学は人間の営み全てに深く幅広く関連しているといえるでしょう。本シリーズでは、「心理学」とはどのような学問なのか、基礎と臨床の2つの面からアプローチします。

1/25 医学部保健学科 准教授 安藤 泰至

【テーマ】「悲しむ」という営み
～人が人であり続けるということ～

未定 医学部臨床心理学専攻 教授 最上 多美子

【テーマ】生活の中の心理学

鳥取大学はSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けてさまざまな取り組みを行っています。

サイエンス・アカデミーの今後の情報は当機関のホームページで随時アップしています。

陶器でできた「とりりん」！?

CDLに陶器でつくられたとりりんがいます！これは「一式飾り」と呼ばれている伝統の継承に取り組んでいる平田一式飾り保存会（出雲市）と地域学部の高橋健司教授の研究室で制作されたもの。

「一式飾り」とは、地域の祭りで身近な道具一式を見立てた作品を作つて飾るという山陰のユニークな民俗行事。江戸時代後期から伝わる伝統をぜひ見に来てください！



鳥大ピアノ

鳥大生が企画した、鳥取市・鳥取県内に常設ストリートピアノを設置し維持する目的を掲げる任意団体「鳥取ピアノ（仮）」が、西川ピアノ調律所様の協力を得て、CDLにアップライトピアノを設置することになりました。常設してあるので平日で貸切以外の時は誰でも弾けます（他の利用者が打ち合わせなどしている際は一言許可をもらって弾いてくださいね）。毎月演奏会も企画されています。詳しくはTwitter:@Tottori_Piano、もしくはInstagram:tottori_i_pianoをご覧ください。



COREの活動やイベント情報も盛りだくさん！ホームページ随時更新中！

<https://www.core.tottori-u.ac.jp>

インスタもやってます♪
cdltottoriで検索！



地域価値創造研究教育機構による様々な活動をス

ムーズに、活発に行っていくための拠点です。

地域の住民、学生、教職員など、様々な立場の方が協働を目的に使用することができます。

平日9時30分から18時まで専用予約（貸切）がない場合は、随時自由に入室し、空いている席で打合せや雑談、休憩等をしていただけます。

CDL コミュニティ・デザイン・ラボ

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地
(鳥取大学正門入ってすぐ 広報センター内)
TEL: 0857-31-5870
Mail: chi-cdl@ml.adm.tottori-u.ac.jp